

- 開催日 2022年8月10日(水) 10:00~12:00 ウエル西山

出席者：岸本(社協)、樋口(包括)、酒井(市民協働推進課)、久保田、大崎、松岡、中谷、中村、竹谷、清水、林、山口(正秋)梅山、生嶋、鶴園、守山、川島、NPO平岩、阪本、(敬称略 順不同)
(出席者19名)

1) 会長挨拶

- おはようございます。相変わらずコロナ感染者数増加など課題がありますが、咳、のどの痛みなどが特徴のようです。気をつけながら出来ることをしていきたいと思います。
- デジタル化の推奨ということで、あとから説明があります。情報交換の方法や、他のまちづくり協議会が頑張っているところがあるので、そんな話ができたらと思います。

☆デジタル化について

①令和4年度限定で市より補助金上限¥370,000

②対象期間 2022年4月1日~2023年2月28日

③対象経費

(1)主に備品購入費や通信費等想定。デジタル化促進に係るものを対象とし、地域で新たなアイデアを生かせる柔軟な補助金。

(2)従前から契約しているインターネット回線にかかる通信料やZoomアカウント料も対象。

(3)対象期間内に契約完了し、支出済のものに関しては、2023年3月以降にサービスの提供受けるものも対象。

◆ 市民協働推進課 酒井さんより説明

*今年度だけの補助金。コロナ禍で地域活動等十分にできなかった。その中でオンライン会議が進み、意見交換会の実施を。まち協でも機器等揃えて交換会をしたい。それを確保する原資がない。市がなんとかしてくれとの要望が。国から臨時公金(コロナ禍で経済活動、地域活動に対して1/10の補助の制度)を得て、市が予算化した。必ずしなければならないという訳ではないがこの機会に前向きに考えてほしい。

*対象経費は主に備品購入費・通信費(パソコン・タブレット・大型モニター等)。

新たな地域での柔軟な補助金ということで、例えばパソコン教室、スマホ教室なども対象に。地域の実情でいろいろアイデアを出して使ってほしい。

*交付申請期間 2022年9月末まで。*中間報告書・変更交付申請 提出締め切り 2022年11月30日(1回限りの変更) *実績報告書 提出締め切り 2023年2月28日 今年度中に契約して来年度にまたがってもOK。

□ 宝塚NPOセンター 平岩伊佐子さんより説明

*補助金のデジタル化の申請しているまち協が1/5ほどある。まったく動いていないまち協も1/5が。

末広まち協の実例を。市への申請も終了し機器の購入もほぼ終了している。紙での広報の廃止の方向で動いているとのこと。LINEブログ等を活用して、できるだけ広報していこうという方向に。日々街の様子をInstagramに更新している。その中で「よちよち広場」というお子さまの会があり、その予定をブログに上げて、その記事をLINEでまち協のスタッフの皆さんにかざすことで「よちよち広場」のことがよくわかるようになり、参加しやすい情報の共有ができるようになった。デジタル化広報でアクセスアップが上がっているよう。

*コミュニティひばりの例を。自治会ともサテライト会場ということでZoomで発信を。高低差のある地域であるがゆえにありがたい。若い方の参加が増えた。

*まちづくり協議会補助金の使途に関するキーワード

実施しやすいよう項目に難易度を表示。★1個のところは難易度が低く、実施できる。★2個はちょっと努力すればできる範囲です。★3個は★1個 ★2個が簡単にできたら進むことが。

できること ★1個と★2個の説明をします。

☆ Zoom から

- * モニターを購入して定例会を対面とオンラインの併用で。（若い世代、現役世代も参加し易くなる）
- * 高齢者と幼稚園交流で、オンライン（Zoom）でクイズ大会などして交流参加できる。

☆ LINE から

- * 役員同士が参加するLINE グループを作成し、素早い情報の共有や意思決定利用する。一番簡単なLINE グループ作りか。
- * みんながLINE を使うのではなく、みんながLINE を使えるようにしようということで「地域住民スマホ講座」を開催して使い方を覚えてもらう。このような講座に宝塚 NPO センターの者が講師として参加できる。
- * ブログ、NSN を利用して地域の活動を動画に撮っていつでも見られるよう配信する。
- * 広報紙の全戸配布を廃止し、ブログでの配信に変更。
- * インスタグラム、YouTube の講座を開催し、使い方を覚える。宝塚 NPO センターが助力する。
- * 機器とかシステムとかの他、運営の仕方としてアイデアがいくつか上がっている。
- * デジタル化の件で PTA など若い世代に意向を聞いているところもあり。
- * まちづくり協議会の中にデジタル化推進チームを発足しているところも。
- * 拠点施設に完全 Wi-Fi 化を進めるのもいいのでは。ポケット Wi-Fi を持ち、まち協から自治会に貸し出すということも考えられる。
- * パソコン活用からとプリンターも一緒に購入して、コミュニケーションアプリや筆談アプリをタブレットで活用。このタブレットを次の人に引継ぎとしてもいい。
- ▲久保田会長より・・・コミュニティ西山は議事録、広報紙、にしやま倶楽部などを UP している。以前は遊歩野会も UP していたが、日常のことは出来ていない。自治会のことも写真とか動画があったら伝えやすいと思っている。この施設はネット設備がないので個人に任せるしかない環境。
- * 今回の補助金で Wi-Fi 設備もできるので可能性はある。Zoom とか有料のものの通信料はどうするかが問題。2 年前前払いできる会社はある。2 年以降どうなるかの不安はある。
- ▲松岡さんより・・・市として若い方の参画を念頭に考えているのか。
- 酒井さんより・・・そうではなくどの世代にもとは考えている。どこにいても会議等に参加し易い環境ができる。
- ▲松岡さんより・・・この地域は高齢化が進んでいるので着いていけるシニヤの方がどれくらいいるか心配。
- 平岩さんより・・・スマホ教室をいろんなところで開催しているので助言できる場所があると。まち協自体がデジタル化に対して前向きであることが前提。末広ではちょっとした街風景を UP しているが、そこからブログへと導き、確実にアクセス数が増えていると。コミュニティがあるんだということが大切。
- ▲守田さんより・・・災害時の要支援事業をしていて、2 年前に Zoom 会議をしていたが、頓挫している。
- 平岩さんより・・・オンライン会議をするなら Zoom を進めています。デジタル化の中で SNS とか活用して広報するとか、パソコンを購入してデータ化から進めているところもある。¥370,000 を活用するにあたって前向きに検討してもらったら良い。
- ▲鶴園さんより・・・マンションの理事長の時オンラインとか併用でといろんな情勢の中、Wi-Fi とかスピーカーを借用する際、貸借の時間に苦慮して、まち協にあれば便利だと思った。また、若い世代の方にもっとまち協とはを PR するにはいいのかなと思った。
- ▲中村さんより・・・この際自治会長含めて Zoom 会議ができる体制をつくることも考えられる。
- 平岩さんより・・・ポケット Wi-Fi は接続数に限りある。ウエルに Wi-Fi 設備を設置したほうがいい。
- ▲久保田会長より・・・とりあえず LINE を繋ぎ、役員会とか自治会とか運営委員の有志でしてみます。次回の運営委員会までに役員会を開催して検討します。

2) 安心安全部会

- ・ 補導委員より・・・終業式の日、大きな荷物をもって帰宅途中雨にあい、袋が破れて困ったお子さんがいて持参のエコバックで助けた。ちょっとした話でした。

3) 環境保全部会 & その他諸事項報告

- ・様々な活動・遊歩野会、スポーツクラブ 21 西山、介護予防運動教室、ドリーム西山、にしやま倶楽部出前運動講座など実施中。
- ・「買い物行こカー」（コープこうべさん）・チラシ配布後、自治会の皆さん、何かあれば情報を。20 件くらいの申込あり。詳細が解ればまた、チラシ配布。（宝南自治会）仁川買い物カーに慣れているからそのまま。70 歳以上、介護保険申請し認められるとタクシー乗車券 ¥500 チケットが 10 枚 市より発行あり。いろんな情報を住民の皆さんに知らせたい。
- ・西山まつりに代わる取り組み（再掲）・PTA からクイズをとの提案が。逆瀬川に親しむ体験や、丸太切り体験をしたいと勝手に。10 月はむつかしいかもしれない。
- ・職員きずな研修（再掲）・宝塚市若手研修 3 年ぶりに復活。前回発表済。
- ・まち協代表者会議・7 月 13 日中央公民館で。デジタル補助金の話などあり。資料回覧。本日まち協会議は休み。
- ・まちづくり計画（再掲）・進捗管理の報告。久保田会長作成中。役員会で検討し、運営委員会に提案予定。
- ・西山音頭またはニシヤマン音頭について・宝塚にお住みの福田さんから「西山音頭」または「ニシヤマン音頭」をつくらうという提案あり。広報紙読み「記憶に残そう西山」冊子を希望された方からの提案。以前「ミヤマアカネ」に関する歌を幼稚園で作った記憶があるが覚えていない。音頭を盆踊りなんかで広め、地域に愛着をもつきっかけになったらいいなど。中村校長先生のニシヤマンも一緒に制作したら面白い。6 地区の特徴を挿入することとし、作詞、作曲を地域の方たちに募集したらいいのでは。また振付等も地域の方をお願いを。いいことなので進める方向で考えたい。岸本さん・どこかでイベントとか地域の曲が流れているだけで愛着・一体感効果がみられることもあるので、重要な役割をするのではと。広報紙などで「音頭」を作成する意思表示から少しずつ進めよう。

※環境保全部会関係

- ・ミヤマアカネ調査など・7 月 23 日ミヤマアカネ復活。8 月 3 日 J-COM から足立先生に取材あり。放送日未定。
- ・まちなみ緑化事業（再掲）・体育館横、幼稚園付近の植樹など。「西山小花の会」西山小学校応援団とも協力して取り組みたい。
- ・逆瀬川の自然を守る会の清掃活動・毎月第 1 木曜日。次回 9 月 1 日 9:30~11:00 宝塚エコネットの活動連携。
- ・サツキとメイの庭活動・サンヴェール：奇数月第 2 日曜日第 1 公園、偶数月第 2 水曜日第 2 公園
- ・様々な報告（再掲あり）
 - * 自主防災組織等への各種助成制度の紹介・自治会やコミュニティにて対応可能。
 - * かぼちゃさん（就学前子育て支援グループ）受け入れ。月曜日（不定期）開始。
 - * 育成会「はなみずきっずクラブ西山」野上 3-12-40 6 月開設。21 名
 - * ご近所ネコ対策・7 月 6 日兵庫県愛護センターが 6 匹のネコ引き取り後、また 4 匹が。困惑。
 - * のがみ児童館・開館。「のがみギネス」8 月 27 日まで。

4) 健康推進部会

- ・遊歩野会・8 月は通常休み。来月 9 月 8 日の五色塚古墳予定していたが中止。7 月 8 月 9 月 3 ヶ月休み。10 月は京都寂光院付近ウォーキング予定を。コロナ禍で中止もあり。
- ・スポーツクラブ 21 西山
 - * グラウンドゴルフ：参加 7 月 2 日 7 名 7 月 23 日 8 名 8 月 6 日中止。次回 8 月 27 日予定
9 月 8 日 宝塚市親睦グラウンドゴルフ大会開催。優勝目指し多数参加予定。
 - * スナッグゴルフ（宝塚ゴルフ倶楽部）：7 月 11 日参加 7 名。リタイヤ者ありで慎重に実施したい。
西山小クラブ活動のスナッグゴルフのお手伝い 次回 10 月 12 日

5) 文化交流部会

- ・介護予防体操教室・8/3、8/10、8/17、8/24（水）9:50~と 11:00~。参加者皆元気に参加。
- ・にしやま倶楽部・7/21（木）13:30~「フラワーアレンジメント」夏のお花でフラワーアレンジメント。
参加費 1500 円（材料代込み）花の状態が悪かったが 12 名参加。初めての方とか広報紙見て

- ・宝南自治会、宝梅自治会との共催で実施予定だったがコロナ禍で中止。
- ・防犯パトロール 8月27日実施。
- ・7/17(日)定例会開催予定。8月はお休み。防犯パトロールは実施。9月も実施の予定だがコロナ禍の状況次第。
- ・「宝梅の歴史」編集に意欲的な福田さんと7月25日自治会本部役員が面談。自治会として全面的に協力をすることとした。資料集めたインタビュー等はやはりコロナ感染状況を見ながら実施予定。

15) 逆瀬川ハイツ

- ・お休み

16) 逆瀬川団地

- ・お休み

17) コモンステージ逆瀬川

- ・7月21日から、2年間中断していたラジオ体操実施。高齢者の参加者が少なくなりいろんな影響があったかも。

18) サンヴェール逆瀬川

- ・個人的な話ですがコロナ陽性となり、どこで陽性要因があったのか心当たりがなく不安要素に。家族に移さないよう心がけるのが大変でした。後遺症は喉の痛みと咳がしばらく続いた。体力が落ちたので回復には時間がかかりそう。

19) 宝塚市社会福祉協議会 岸本さん

- ・「未来へつなぐ とともに自分らしく輝けるまち」「縁フェス」チラシ配布。
- ・8月27日に「縁フェス」宝塚市地域福祉課主催。社協も出展団体として協力。「お互いさまのまちづくりを考える」ということで縁結びのイベントの予定を。「子どもと地域の関わり方について」、「お互いさまのまちづくりを考える」をテーマにパネルディスカッション、講演会をします。講演会終了後、ブースを設けそれぞれの相談等受け付けます。
- ・「未来へつなぐ とともに自分らしく輝けるまち」宝塚市社会協議会、第7次地域福祉計画を2022年度から作成を。この計画は5年計画で、めざす目標や、それにむけた取り組み・方針をみんなで話し合いながら地域福祉をすすめる。民間の活動計画で2027年度まで活動です。
 - *基本目標1：お互いさまのまちづくり
 - *基本目標2：多様性を認め合えるまちづくり
 - *基本目標3：自分らしい暮らしを支える仕組みづくり
 - *基本目標4：地域福祉の基盤づくりとマネジメントとしています。自治会で説明等必要であれば出向きます。基本目標1のお互いさまのまちづくりはまち協のまちづくり計画に基づいて進める。日常生活で誰もが気に掛け合い、災害時など困ったときにSOSを発信しやすい地域づくりを目指していきたいと思っている。宝塚ボランティア活動センターが「宝塚ボランティアプラザ zukavo(ｽﾞｸﺎᴠᴏ)」に命名変更。

20) 逆瀬川地域包括センター 樋口さん

- ・7月相談件数が4月5月6月に比べて半分くらいに減っている。相談内容としては家の中に手すり設置とか、住宅改修についてが多かったように思います。他、親御さんの認知症。訪問の際ワクチン接種について聞いていますが終わっているようです。コロナの件数が増えているようなので対策を講じている。

21) 市民協働推進課 酒井さん

- デジタル化促進事業の件ですが、限度額¥370,000を超えた分は通常の補助金1号から3号までの予算で補填可能。通信費について：デジタル化はしたが通信費が通常の予算から捻出しなければならなくなる。その件は内部で検討していこうと思っている。職員きづな研修生の参加行事検討を。

(記録内容に間違いがある場合、原本を修正しますのでお知らせください)